

I 美術で何を学ぶのか？

(1) 表現する活動 - 美術はタンポポだ！ -

美術の表現する活動をタンポポにたとえてみたいと思います。今から 10 秒間、タンポポの姿を思い浮かべてください。

緑色の葉があって、くきの先に黄色い花が咲いている姿を思い浮かべたと思います。この花が、美術で言う「作品」にあたります。

地面の下にはタンポポの根があります。いくつのも根が伸びています。長い根は1メートル以上あります。目には見えないけれど、実は植物の体の大部分をしめるのが根。この根が、美術で言う「探求の根」です。自分が感じたことや考えたこと、思いついたことや調べたことなどを言葉やスケッチでかいたり、「これはいい」と思ったことを集めたりすることで、探求の根が伸びていきます。この活動が美術のノートやスケッチになります。それがどんなものなのか、1年教科書 P46・47、2・3年教科書 P78・79 を見てください。

タンポポはタネから育ちます。このタネが、美術で言う「興味のタネ」にあたります。興味のタネは「こうしたい」「こう表したい」「どうなっているんだ？」「なんでだろう？」「どうしたらいいんだろう？」というような自分の中にある興味や好奇心や疑問です。

タンポポはタネから根を伸ばして成長していきます。そしてあるとき花を咲かせます。美術の表現する活動は、自分の中にある興味のタネから、自分なりのものの見方で探求の根を伸ばし、作品という「自分なりの答え」を生み出す活動なのです。みなさんの興味も、ものの見方も変わっていくので、自分なりの答えも変わっていきます。

(2) 鑑賞する活動 - 鑑賞には決まった正解がない！？ -

美術の学習としての「鑑賞のしかた」を教科書の作品を例にして説明します。

まずは教科書の 41～44 ページを開いて作品を見てください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 あなたは、この作品の中に何を見つけましたか？（たくさん見つけましょう。）2 色や形やつくり方（描き方）で気がついたことは何ですか？3 見つけたり気がついたりしたことから、あなたはどんな感じがしましたか？あなたは何を考えましたか？4 この作品の作者はどんなことを表したかったのだと思いますか？あなたが思うのは、この作品のどういうところからですか？5 あなたはこの作品を見てどんな感じがしましたか。あなたがそう感じるのは、この作品のどういうところからですか？ |
|---|

やってみましたか？これらのことに順に答えていくと、自分がどんなふうに感じるのか、自分が「いいなあ」と思うものがどんなものなのかがわかってきます。作品を鑑賞するということは、決まっている正解を見つけ出すことではありません。あなたがどう感じてもどう考えても、それがあなたなりの答えであり、自分なりのものの見方です。鑑賞をして、「なんだこれは！？」と心が動くと、自分なりのものの見方が広がります。

学校では、みんなで話し合います。鑑賞に決まった正解がないのに、なぜ話し合うのでしょうか？それは、作者を含めた他の人たちがどう感じどう考えたかを知って、他の人たちと自分の同じところや違うところを認め合うためです。人と同じだったり違ったりしてあたりまえ。鑑賞に正解や間違いはありません。「そんな見方もあるんだね」と認め合うことで、自分なりのものの見方が広がって、どんどんバージョンアップしていきます。

Ⅲ おうちで美術（宿題）

美術のテレビを見よう！おすすめ番組は、別のプリントを見てね！

課題1 5月11日～5月15日

○自分だけの「美術ノート」をつくろう。

- ・配った普通のノートを自分だけの「美術ノート」に変身させます。
- ・美術の教科書と同じ向きに開くようにして使っていきます。
- ・表紙には必ず「美術ノート」というタイトルと「氏名」を描きます。タイトルや氏名は、自分が気に入った大きさや形や色にしましょう。色鉛筆・ペン・マーカー・絵の具など、何を使ってもいいですよ。別な紙などに描いたものを貼りつけてもいいですよ。表紙全体に貼ってもいいですよ。表紙の空白や裏表紙に模様やキャラクターやイラストなど、あなたの好きなものを描いたり貼ったりしてもいいですよ。あなたのアイデアください。

○さっそく「美術ノート」を使いましょう。問題です。

「美術で何を学ぶのか？」今のところの自分なりの答えを、絵や図や言葉で「美術ノート」にかきましょう。（日付も書いてね）

「美術ノート」には、課題ではないことでも、興味のあることをどんどん描いたり貼ったりして、楽しいノートにしていきましょう。2冊目からは自分で用意してね。

課題2 5月18日～5月22日

○教科書の作品を鑑賞しよう。

- ・教科書の中から鑑賞する作品を1つ選びましょう。（41～44 ページの作品でもいいです。）
- ・何ページの何という作品を鑑賞するのか「美術ノート」に書きましょう。
- ・Ⅱ（2）鑑賞する活動で説明した順に、見つけたことや感じたり考えたりしたことを「美術ノート」に書きましょう。絵や図を描いたり色をつけたりしてもいいですよ。（おまけ）時間があれば、2つ3つと鑑賞して「美術ノート」に記録しましょう。

課題3 5月25日～5月29日 休校が延長になったら次の週も続けましょう。

○豊根村のおみやげをつくろう。「包みの工夫、パッケージデザイン」教科書 P68・69

- ・教科書を参考にして、豊根村の「何を（特産物など）」、「どんな商品にして」、「どうのよう
- にパッケージして」、お持ち帰りができる豊根村のおみやげにするのか考えましょう。パッケージできない場合は、それを入れて持ち帰るバックや袋などを考えてみましょう。
- ・「美術ノート」に、考えたことを言葉で書いたり、思いついた商品やパッケージなどの形や色や、パッケージにつけるロゴ（文字）やイラストをスケッチしたりしましょう。

（おまけ）お菓子だけでなく、〇〇ジュースのラベルや〇〇弁当のパッケージなどを考えてみるのもいいですね。できれば、今ある本物のおみやげを調べてみましょう。

→ 学校が再開したら「美術ノート」をもとにして、「豊根村のおみやげ」のモデル（展示用の作品）に仕上げていく予定です。

おまけ 美術の教科書をすみからすみまで読んでみましょう。発見や驚きがありますよ。

学校で美術の授業がある日には、教科書と「美術ノート」を持って来てくださいね。